

軽量で施工性に優れた「かるてん。abcスクリュ」 曲面が魅力の区民ホールの特定天井を改修

エービーシー商会の「かるてん。abcスクリュ」は、超軽量かつ施工性に優れ、 メンテナンスが容易なポリエステル系不燃軽量ボードだ。その特長が評価さ れ、横浜市青葉区総合庁舎の天井改修工事にも採用された。設計を手がけた じつ建築設計事務所の代表伊藤実氏に、改修提案のポイントを聞いた。

横浜市青葉区総合庁舎は、1995年 の竣工以来、保健施設、庁舎区役所 などの機能を兼ね備えた複合施設とし て利用されてきた。その1階にある区 民ホールの天井改修工事が2021年2月 に竣工した。これは、横浜市の「公共 建築物天井脱落対策事業」の一環とし て行われたものだ。

天井材質量2kg/m以下 断熱性・吸音性が避難所として役立つ

この改修工事で前提となったのは、 天井脱落対策にかかわる技術基準告示 「国土交通省平成25年告示第771号」に 定められた、いわゆる「特定天井」につ いての対策だ。伊藤氏は4~5種類の 天井材と工法を比較表にまとめ、発注 者である横浜市、青葉区と協議を行っ た。最終的に選択されたのが、エービ ーシー商会の「かるてん®abcスクリュ」 だった。

最大の特長は軽量であることだ。素 材本体の重さはわずか0.7kg/m。下地 を含めても2kg/ml以下に収まる。「サ ンプル材を手に取ったとき、あまりの 軽さに驚きました。これなら震災に見 舞われても明らかに安全だなと実感し ましたし。



青葉区の広報サイトでも、「この工事 は吹き抜け部分の天井脱落対策を行っ ていたもので、災害が発生した時に区 民の皆様の安全を確保し、防災機能 の役割が十分に果たせる施設になるこ とができました」(令和3年3月 小澤明 夫区長) とのメッセージが掲載されて いる。

万一、地震や衝撃などによって天井 から脱落したとしても、石こうボードと 違って、軽く薄い素材のため、落下し ても粉塵が舞うことはない。振動台試 験で実地震波を用いた安全性の検証 でも、変形、破損、脱落は起きなかっ

「かるてん。abcスクリュ」 システム図





み:45mm

度:148kg/㎡

さ: 0.7kg/m (本体のみ)

国土交通大臣認定 不燃材料認定番号取得

た。4.5㎜と薄く軽量でありながら高 い断熱性・吸音性も発揮。災害発生時 の避難所など利用者の安全を第一に 考える場所でも積極的に採用されてい る天井材だ。

用途に合わせて工法は4種類 将来の張り替えも容易

「かるてん®abc天井システム」には、 用途に合わせた4種類の工法が用意さ れている。アルミ下地にビス留めする 「かるてん。abcスクリュ」が採用された (図1)。この工法であれば、天井改修 時に既存パネルの割り付けと器具の 配置を調整しながら施工を進めるこ とで、既存の構造から大きく変えるこ となく置き換えることができ、照明器 具、エアコンの吹き出し口、スピーカ 一などは交換せずに使用することがで きた。

検討段階では「ビス留めによる材の 継ぎ目が目立つのでは」という懸念も あったが、「まったく気になることはあ りませんでした」。

他の選択肢としては、膜天井も検討

されたが、既存の吊り天井とは異なる 特殊な工法を用いるため、メンテナン ス時の手間が問題となった。その点、 「かるてん。abcスクリュ」であれば、 既存の吊り天井と同様、ビスを外すだ けで容易に張り替えることが可能だ。 そうした将来のメンテナンス性につい ても、採用にあたって評価の対象とな

高所での作業もスムーズ 柔軟な素材は自由な設計を可能に

「かるてん。」(図2)は、カッター1本 で必要なサイズへ容易に加工できる。 ロックウールや石こうボードのような 加工時の粉塵の飛散や騒音もほとんど 発生しない。軽量であるため、取り回 しやすく高所作業もスムーズだ。

区民ホールは曲面が美しい複雑な 意匠が特長的である。地域の住民に も長い間親しまれてきた空間というこ ともあり、その意匠性をなるべく生か す方向で改修プランを検討する必要が あった。既存天井の曲線を活かすため に、その加工性の高さが大いに貢献し たといえる。

「かるてん。abcスクリュ」で用意され ている標準色はホワイトとブラックの 2種類。市の担当者と協議して、明る い印象となるホワイトを選択した。「色 や柄をプリント加工することもできるん ですね。色や柄を使えば華やかな演出 も考えられますね」。今回の改修案件 は、伊藤氏のイマジネーションを大い に刺激する経験となったようだ。

「従来の天井材と比べて軽量なので、 災害時の安全性を高められるという 特長は、多くの発注者に評価されると 思います。今後の耐震改修案件では真 っ先に採用候補に挙がる天井材になる でしょう」と強調する。



近年は地震が頻発し、天井落下な どの被害も懸念されている。建物の安 全性を高めるためには、その裏付けと なる具体的な提案が必要だ。エービー シー商会では、今後も「かるてん。abc 天井システム」のような商品を提供する ことで、社会の安全環境の構築に寄与 していく。





